

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : ロクマックスブロック補助充填材用外装材
一般名称 : ポリエステル不織布フリース
会社名 : 株式会社古河テクノマテリアル
住所 : 〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡 5-1-8
担当部門 : 防災事業部 品質保証部
電話番号 : 0463-24-9341
FAX 番号 : 0463-24-9346
緊急連絡先 : 0463-24-9341
推奨用途及び使用上の制限 : 主として貫通部防火措置材料として用いる。

会社名(供給者) : ネグロス電工株式会社
住所 : 〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-40-1
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : 03-5628-7122
FAX 番号 : 03-3681-1202
緊急連絡先 : 03-5628-7122

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物 : 区分に該当しない
可燃性ガス : 区分に該当しない
エアゾール : 区分に該当しない
酸化性ガス : 区分に該当しない
高压ガス : 区分に該当しない
引火性液体 : 区分に該当しない
可燃性固体 : 区分に該当しない
自己反応性化学品 : 区分に該当しない
自然発火性液体 : 区分に該当しない
自然発火性固体 : 区分に該当しない
自己発熱性化学品 : 区分に該当しない
水反応可燃性化学品 : 区分に該当しない
酸化性液体 : 区分に該当しない
酸化性固体 : 区分に該当しない
有機過酸化物 : 区分に該当しない
金属腐食性化学品 : 区分に該当しない
鈍性化爆発物 : 区分に該当しない

健康有害性

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない
呼吸器感作性	: 区分に該当しない
皮膚感作性	: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない
発がん性	: 区分に該当しない
生殖毒性	: 区分に該当しない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 区分に該当しない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 区分に該当しない
誤えん有害性	: 区分に該当しない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分に該当しない
オゾン層への有害性	: 区分に該当しない

GHS ラベル要素

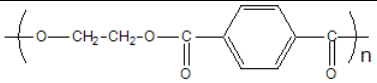
絵表示又はシンボル	: なし
注意喚起語	: なし
危険有害性情報	: なし

注意書き

安全対策	: なし
応急措置	: なし
保管	: なし
廃棄	: なし
他の有害性	: 溶融物が皮膚に付着すると火傷を起こす危険性がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	化学式または構造式	含有率 (%)	官報公示 番号	CASNo.	国連 番号
ポリエチレン テレフタレート		99 以上	化審法 7-1022	25038-59-9	—
染料その他	非公開	約 1	—	非公開	—

4. 応急措置

吸入した場合	: 固体なので問題ない。溶融物のガスを吸って気分が悪くなった場合は、新鮮な空気のある場所に移し、回復を待つ。回復しない場合や喉に痛みがある場合は、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 常温では問題ない。溶融物が付着した場合には、直ちに清浄水で冷やし、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	: 眼を擦らない。清浄な水で洗浄し、もし痛みがある場合とか、それが続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 無理に吐かせない。水でよく口を洗う。直ちに医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	: なし
医師に対する特別な注意事項	: なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 大量注水、炭酸ガス、粉末消火器、水の噴霧、泡沫消火器
使用してはならない消火剤	: 特に情報なし
特有の危険有害性	: 火災時に一酸化炭素等のガスが発生することがある。
特有の消火方法	: 火煙の風下にいる場合は、刺激性または有毒ガスを吸入しないように避難する。燃焼の際は燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。
消火を行う者の保護	: 呼吸用の保護具、眼の保護具を着用する。
その他	: 特に指定なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	: 特に影響はないが、保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 長期的に残留可能性が予測される。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 缶等に回収する
二次災害の防止策	: 速やかに、掃き集める等の清掃を行い、廃棄容器等に回収する。産業廃棄物として廃棄する

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱	
技術的対策	: 製品に対する転倒、落下、衝撃を加える等の乱暴な取扱いや水漏れを防止する。
安全取扱注意事項	: 製品に対する転倒、落下、衝撃を加える等の乱暴な取扱いや水漏れを防止する。 炎・火花・高温体との接触を避ける。 静電気が蓄積する場合があるので、可燃性又は爆発性の蒸気が存在する可能性のある場所で開梱したり触れたりしてはならない。
衛生対策	: 取扱い後は手をよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	: 直射日光・高温多湿・急激な温度変化を避け、火気・熱源から遠ざけて通風の良い室内に保管する。
安全な容器包装材料	: 特に指定なし。

8. 暴露防止及び保護措置

管理指標	
管理濃度	: 特に設定されていない。
許容濃度	: 特に設定されていない。
暴露防止	
設備対策	: 特に必要はないが、必要に応じて排気を使用する。
保護具	
呼吸器用保護具	: 必要に応じて、保護マスクを使用する。
手の保護具	: 必要に応じて、保護手袋を使用する。
眼の保護具	: 必要に応じて、保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	: 必要に応じて、保護着／安全靴等を使用する。
特別な注意事項	: なし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	: 固体、シート状
色	: 白色
臭い	: なし
融点・凝固点	: 融点 250～260℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: 発火源の存在により可燃
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: 約 300℃以上
自然発火点	: 約 400℃以上
分解温度	: データなし
pH	: 該当なし
動粘性率	: データなし

溶解度	: 水に不溶
n-オクタール/水分配係数(log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 1.1~1.4
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性)	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: なし
化学的安定性	: 通常的环境下における温度や気圧においては安定している。
危険有害反応可能性	: 通常の手扱い条件においてなし。

11. 有害性情報

急性毒性	: 有用な情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 有用な情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	: 有用な情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 有用な情報なし
生殖細胞変異原性	: 有用な情報なし
発がん性	: 有用な情報なし
生殖毒性	: 有用な情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 有用な情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 有用な情報なし
誤えん有害性	: 有用な情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 有用な情報なし
残留性・分解性	: 分解による有害物質の発生はない
生体蓄積性	: 有用な情報なし
土壌中の移動性	: 有用な情報なし
オゾン層への有害性	: 有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

- | | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | : 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し処理する。
海、川、その付近及び排水溝に廃棄をしてはならない。
その他関係法令の定めるところに従う。 |
| 汚染容器及び包装 | : 知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し処理する。 |

14. 輸送上の注意

国内規制

- | | |
|------|---|
| 陸上運送 | : 消防法 労働安全衛生法に該当の場合は法に従う |
| 海上輸送 | : 船舶安全法に定められている方法に従う |
| 航空輸送 | : 航空法に定められている運送方法に従う |
| その他 | : 輸送に際しては、直射日光、高温、湿気を避け、容器の破損の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 |

15. 適用法令

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) | : 非該当 |
| 労働安全衛生法 | : 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | : 非該当 |
| 消防法 | : 指定可燃物 合成樹脂類 |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | : 産業廃棄物 (廃プラスチック類) |

16. その他の情報

- | | |
|---------|----------------|
| お問い合わせ先 | : 品質保証部 |
| TEL | : 03-5628-7122 |

注意事項

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、その内容を保証するものではありません。新しい知見によって改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用下さい。

以上